令和８年第９回
幸手市教育委員会定例会会議録

招　集　期　日	令和８年９月 15 日（火）午前９時 30 分	
開　会　場　所	幸手市役所第二庁舎　２階　第２会議室	
開会の日時・宣告者	令和８年９月 15 日（火）午前９時 30 分	山 西　実
閉会の日時・宣告者	令和８年９月 15 日（火）午前 11 時 15 分	山 西　実

出席状況	職　名	氏　名	摘 要	職　名	氏　名	摘 要
	教 育 長	山 西　実	出 席	教育委員	藤 沼　寛 次	出 席
	職務代理者	会 田　研 司	出 席	教育委員	古沢　万友実	出 席
	教育委員	髙 島　勝 也	出 席	教育委員	林　晴　実	出 席

傍聴人：０人	書 記：朝見　佳晃・坂本　康太

議事参与者	職　名	氏　名	職　名	氏　名
	教 育 部 長	仙 田 茂 雄		
	教育総務課長	大 竹 孝 典		
	学校教育課長	中 沢 朋 宏		
	社会教育課長	内 藤 雅 士		

会 議 事 件 名	顛　　末
開　　会 午前９時 30 分 **日程第１** **前回会議録の承認**	教育長 　開会を宣する。 教育長 　令和８年第８回教育委員会定例会の会議録の内容について質問を求める。 **≪質疑≫**　質疑なし。 **≪承認≫**　全員異議なく承認。
日程第２ **議　　事** **議案第 25 号** **令和９年度当初教職員人事異動方針等について**	学校教育課長 　資料により説明する。 **≪質疑≫** 会田職務代理者 　令和９年４月に東小中学校が開校することにあたり、何か人事において考えているものはあるか。 学校教育課長 　中学校１校、小学校３校が統合し、東小中学校となるため、それぞれの学校から複数名の教職員の配置ができればと考えている。また、義務教育学校であることから、基本は小学校と中学校の教員免許を持っている方を配置していきたいと考えている。しかし、市内の教員を見ると、小・中両方の教員免許を持っている教員が多くない現状から、小学校の教員で、中学校の免許を持っている教員がいれば、配置をしていきたいと考えている。また、中学校の教員については、小学校の教員免許を持っていなくても、中学校の教員免許の教科であれば、小学校の指導ができることから、中学校の教員が専門的な力を発揮して、小学生にも教えていけるような教育課程の編成を考えていきたいと思っている。 会田職務代理者 　９年間を見通した授業も展開できるような特色を生かした教育課程とか、中学校の教員が児童を教えるといった夢のある事業を展開していただきたい。

	藤沼委員 　この方針は、埼玉県がルールを決めて、市町村へ下すこととなっていると推測されるが、市町村が大きく方針を変更することはできないということか。 学校教育課長 　そのとおりである。 教育長 　他市町村との人事交流もあることから、大きく変えることはできない。 ≪**採決**≫　全員異議なく原案どおり議決。
議案第 26 号 **幸手市文化財保護審議会委員の委嘱について**	社会教育課長 　資料により説明する。 **≪質疑≫** 藤沼委員 　審議会は年に何回開催するのか。 社会教育課長 　令和７年度は、２回程度開催している。 藤沼委員 　開催が０回という年もあるのか。 社会教育課長 　ない。 林委員 　委員全員が再任となるが、最も長い方で何期目なのか。 社会教育課長 　８期 16 年となり、次回は９期目となる。 林委員 　委員はプロフェッショナルな方々と推測される。専門性と継続性も大事だと思われるが、今後の後継者の確保について何か具体的に考えているのか。 社会教育課長 　学芸員の会議等で交流があるため、情報共有しながら、人材確保に努めていきたい。 林委員 　文化財の案内板の表示が薄れていて見づらくなっている。 社会教育課長 　順次直していきたいと考えている。

	≪**採決**≫　全員異議なく原案どおり議決。
議案第 27 号 **幸手市公民館運営審議会委員の委嘱について**	社会教育課長 資料により説明する。 **≪質疑≫**　質疑なし。 ≪**採決**≫　全員異議なく原案どおり議決。
専決報告第 24 号 **臨時的任用教職員の内申**	学校教育課長 資料により説明する。 **≪質疑≫**　質疑なし。 ≪**承認**≫　全員異議なく承認。
日程第３ **行政報告** **１　教育長報告**	教育長 １　各種教育長会議等 ２　令和８年第３回幸手市議会定例会 ３　講演等 教育部長 令和８年第３回幸手市議会定例会一般質問（教委担当部分）の要旨
２　事務局からの主要な報告	教育総務課長 １　工事等の進捗状況 学校教育課長 １　10 月の主な行事 ２　令和８年度　全国、埼玉県学力・学習状況調査の結果について 社会教育課長 １　文連作品展 ２　令和８年度第１回幸手市立図書館協議会 ３　幸手市電子図書館（読み放題パック）運用開始 ４　第 30 回ランチタイムコンサート ５　令和８年度第１回幸手市公民館運営審議会 ６　第 70 回市民スポーツ大会（地区大会） 社会教育課長（公民館） １　利用状況 ２　事業報告

	3　今後の事業予定 社会教育課長（郷土資料館） 1　報告事項 2　今後の事業予定 社会教育課長（図書館） 1　報告事項 2　利用状況 3　今後の事業予定 4　予約の多い図書（上位５冊） 5　電子：閲覧の多いコンテンツ（上位５コンテンツ） 社会教育課長（幸手市民文化体育館） 1　利用状況 2　自主事業 3　今後の自主事業 社会教育課長（幸手総合公園） 1　利用状況 社会教育課長（神扇グラウンド） 1　利用状況 社会教育課長（B&G 海洋センター） 1　利用状況 2　自主事業 3　今後の自主事業 社会教育課長（武道館） 1　利用状況 **≪質疑≫** 藤沼委員 10 人で 10 項目と多くの議員から様々な質問があったが、細部にわたり説明がされており、良かったと考える。議会を傍聴していると、議員自ら情報収集をしているように感じており、提案型議会になってきていると考える。議会のデジタル化も含めて、体質を変えていかないといけないと感じた。また、外国籍の子どもが増えていることから、対策が急務と考える。さらに、さくらマラソンについても、他県や他市町村を参考にして、考えていって欲しい。議会の一般質問の答弁全体を通して単調になっているように感じる。 教育部長 議員からの質問については、丁寧に回答していきたい

	と考えている。 　外国籍の子どもへの対策についての教職員の配置については、令和７年度に埼玉県から３人の配置があった。埼玉県も外国籍の子どもへの支援を考えているかと思われる。しかし、日本語を全く話せない子どももいるため、授業のサポートに入っても難しい場合もあるが、限られた資源の中で、現場の教職員も支援をしている状況である。 　また、さくらマラソンの車椅子の対応は、制限時間の延長やコースの変更は難しいと考えているが、車椅子の方にも多く参加していただきたいと考えているため、工夫して対応していきたい。 林委員 　外国籍の子どもについて、本人が日本語に苦労しているだけでなく、保護者との意思疎通が難しい場合もあると考える。教職員の負担も大きいと思う。 古沢委員 　不登校対策とフリースクールの助成について、幸手市では様々な手厚い支援の選択肢が十分整備されていると思う。その中で、「埼玉県メタキャンパス」に幸手市から参加している児童・生徒がいるのか。また、「心すこやかラボ」という取組について教えていただきたい。さらに、市内小・中学校の不登校児童・生徒数が２年連続で６年生だけ突出しているように感じるが、もともと不登校であった児童と６年生になってから不登校となった児童の割合について伺いたい。 学校教育課長 　まず、「埼玉県メタキャンパス」については、埼玉県がオンラインの仮想空間上でアバターを活用して、参加できるものとなっている。本市の参加している児童・生徒については、希望者がいれば、ＩＤ等を配布しており、把握している限りでは、１～２名ほどが参加している状況である。次に、「心すこやかラボ」は、県が主催しているオンラインサポート部分が、年度初めや年度終わりにかけて利用できないため、その間の学びの保証として、心すこやか支援室が今年度から行っている事業である。また、６年生の不登校児童・生徒の割合については、昨年度より引き続きというケースが多い。選択肢が広がってきている中、居場所が見えてきている児童・生徒も増えてきている

	ため、そういった児童・生徒には、居場所へつなぐサポートをしている。しかし、文部科学省の基準では、年間欠席日数が 30 日を超えてしまった段階で、不登校数にカウントされてしまう。 古沢委員 「メタキャンパス」に１～２名参加しているとのことだが、保護者の意見等はあがっているか。 学校教育課長 直接的な意見はいただいていないが、子どもたちが積極的に参加している姿を見ていることから、保護者も少しずつ安心感を持たれているのではないかと考えている。 教育部長 「埼玉県メタキャンパス」に参加していた子どもが、今年度から普通教室へ戻れたというケースも聞いているため、地道にサポートを行っていきたいと考えている。 髙島委員 「埼玉県メタキャンパス」の参加自治体は、ＨＰに記載がある。 林委員 電子図書の「読み放題パック」については、児童・生徒だけでなく、一般の方も利用可能なのか。 社会教育課長 図書館の利用者カードをお持ちの方は、一般の方でも電子図書の利用が可能である。内容は小・中学生向けのものとなっている。 林委員 「読み放題パック」について、一般の方も児童・生徒も貸出期限や冊数に制限がなく利用できるということは、自宅の本棚に図書が並んでいるということになり、素晴らしいことだと思う。 Ｂ＆Ｇ海洋センターの利用者数が、減っている。理由として、「その他」となっているが、具体的には何が原因で減ったのか教えていただきたい。 社会教育課長 大会等のイベントが昨年はあったが、今年はなかったものだと推測している。 教育長

	電子図書館の利用については、市内小・中学校の児童・生徒はカードがなくても利用ができるが、一般の方は、カードがないと利用できないようになっている。 藤沼委員 学力・学習状況調査の課題にある非認知能力については、高めていくために、学校だけではなく、家庭の支援が必要であると考える。ペーパーテストを含めながら、小学生であれば外で遊び、中学生は部活動で交流を広げていくのが一番良いと思っている。テストによって点数をつけることも必要であるが、学力・学習状況調査はあくまでも大枠であり、進路を左右するものではないので、できる範囲のところをきちんとサポートすればよいと考える。 郷土資料館の長島屋の資料については、とても素晴らしいものである。 読書力をアップすることには課題があると考える。図書館の蔵書数と貸出数を見ると数が減っている。人口減と並行して落ちていくと考える。蔵書数や貸出数が減少している原因を分析していただきたい。
日程第４ **その他** **１　次回以降の会議日程**	各委員の意見を調整した結果、次回以降の会議について、次のとおり決定する。 （１）令和８年第 10 回幸手市教育委員会定例会 日時　令和８年 10 月 20 日（火） 午前９時 15 分 場所　八代小学校　１階　会議室 （２）令和８年度第２回総合教育会議 日時　令和８年 10 月 20 日（火） 午前 11 時 30 分 場所　八代小学校　１階　会議室
２　次回の協議事項	教育総務課長 「特色ある教育活動と令和９年度を見据えた取組について」を議題とする。

３　その他	髙島委員 「教育の未来像について」資料により説明する。
４　教育委員の異動について	教育長 会田委員の任期満了に伴う退任報告をする。 会田職務代理者 退任にあたり御挨拶をいただく。
閉　　会 午前 11 時 15 分	教育長 閉会を宣する。

他特に重要と認める事項	な　し
	上記会議の顛末を記載し相違ないことを証するため、ここに署名する。 令和８年１０月２０日 教　育　長　山西　実 署名 署名委員　林　晴実